

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーステーション		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが積極的に取り組めるよう、やりたい活動を取り入れる。	子どもたちがやりたいと意思表示してくれた活動は、まず取り入れてみる。	創作意欲や想像力を大切にしてプログラムに定着させる。
2	活動の種類が豊富。	活動がマンネリ化しないようなプログラムを考える。	長期休暇等、時間がある時にも遊びのストックを持っておく為に、アイデアの発想・情報収集に努める。
3	周辺に公園・商店街・図書館がある為、屋外活動を充実させることができる。	外出の機会をプログラムに組み込んでいる。	外に出た際、地域の人と関わる機会を設け、繋げて行けるように工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの人数に余裕のない時があり、余裕をもって業務を行うことができていない。	人手不足を感じる時がある。	準備を念入りに行い、子どもたちに対応できる工夫をする。 情報共有をきちんと行い、チームとして機能できるように努める。
2	家族に対する研修や保護者会等の開催ができておらず、家族へのサポートが不十分。	必要な情報を提供する為の知識と提案力が不足している。	スタッフ間で知識や資質の向上を行い、発信していけるように努める。
3	地域交流の機会を持つことができておらず、地域に開かれた事業所になっていない。	地域に出かけていくことがあるが、地域の人に来てもらうことができていない。	地域の方との交流の機会を持ち、地域の関連機関とも連携していけるように努める。